

社会・環境部会 企画セッション一覧（2010～2025）

年	年会・大会	タイトル
2025	秋の大会	○企画セッション 「高レベル放射性廃棄物処分をめぐる社会との対話」 座長（関西）土田昭司 講演(1) 高レベル放射性廃棄物処分をめぐる社会との対話－寿都町での事例をふまえて 竹田宜人（北大） 講演(2) 高レベル放射性廃棄物の処分問題をテーマにした若い世代の対話 井内千穂（ジャーナリスト） 講演(3) 高レベル放射性廃棄物処分場は何のための施設なのか－政策目的をめぐる 議論の重要性 渡辺凜（キャノングローバル戦略研） 会場との質疑
2025	春の年会	開催なし
2024	秋の大会	○企画セッション「対話の場」から福島復興と廃炉を考える 座長 寿楽浩太（東京電機大） 講演(1)「科学と政治と社会の協働による『対話の場』から福島復興と廃炉を 考える」松岡俊二（早大） 講演(2)「福島特別プロジェクトの活動」布目礼子（原環センター） 総合討論
2024	春の年会	○企画セッション 研究専門委員会、社会・環境部会共催 「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」 座長:土田 昭司（関西大） 講演(1) 委員会設立の狙いと活動の経過報告 佐田 務（JAEA） 講演(2)「風評」問題に関する検討状況の報告 寿楽 浩太（東京電機大） 講演(3) 安全概念のアップデートとそれに伴う風評への向き合い方の変化の可能性 岸本 充生（阪大）
2023	秋の大会	○企画セッション 「2022 年度社会・環境部会賞受賞記念講演」 座長 桑垣 玲子（電中研） 講演(1) 原子力の哲学 戸谷 洋志（関西外大） 講演(2) 原子力（学会）と哲学 菅原 慎悦（関西大） パネル討論 寿楽 浩太（東京電機大）、土田 昭司（関西大）、佐田 務（JAEA）、戸谷 洋志、菅原 慎悦
2023	春の年会	○企画セッション 研究専門委員会、社会・環境部会共催 「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」 講演(1) 委員会設立の狙いと活動の経過報告 佐田 務(JAEA) 講演(2)「風評」問題に関する検討状況の報告 寿楽 浩太(東京電機大) 講演(3) 風評被害のメカニズム－東京電力福島第一原子力発電所事故後のリスクの 社会的増幅 関谷 直也(東大) (4) 総合討論
2022	秋の大会	○企画セッション 「福島原発事故をふりかえる」 講演(1) 福島原発事故 10 年検証委員会で明らかにしたこと 鈴木 一人（東大） 講演(2) 福島第一原発事故を取材して 近堂 靖洋（NHK） 講演(3) アカデミアの視点から福島原発事故を内省する 佐田 務（学会誌編集長） パネル討論
2022	春の年会	○企画セッション 「「風評」と「風評被害」を再考する」 講演(1) トリチウム処理水の海洋放出をめぐる概要 佐田 務(JAEA) 講演(2) 「風評」についての社会心理学的視点からの見解 土田 昭司（関西大） 講演(3) 「風評」についてのリスクコミュニケーションの視点からの見解 竹田 宜人（北大） パネル討論

社会・環境部会 企画セッション一覧（2010～2025）

2021	秋の大会	○企画セッション 「2020年度社会・環境部会賞記念講演」 講演(1) 放射性廃棄物処分における核種移行評価パラメータの定量化手法：専門家意見聴取の活用事例調査 講演(2) 福島第一原子力発電所事故の復興人を支える「三つのライフ」 越智 小枝(東京慈恵会医科大学) 講演(3) 社会調査で明らかになること／ならないこと 齋藤啓介(岡山大学) 講演(4) 意思決定、組織行動、原子力政策などの研究を通じた原子力業界への示唆 ー 原子力をナッジする ー 松井 亮太(山梨県立大学)
2021	春の年会	開催なし
2020	秋の大会	○企画セッション 「原子力に対する世論動向」 講演(1) 原子力発電世論の力学 北田淳子 (INSS) 講演(2) 原子力世論の推移と情報獲得行動 木村 浩 (木村学習コンサルタンツ) 講演(3) 原子力世論と原子力学会員の認識 土田昭司(関西大学)
2020	春の年会	開催なし
2019	秋の大会	○企画セッション 社会課題への貢献に向けた学会の役割（理事会との合同セッション） 座長 西野由高（日立） 講演（1）60周年シンポジウムから 岡嶋成晃（JAEA） 講演（2）地球環境問題と原子力 小宮山涼一（東京大） 講演（3）将来の原子力の展望と学会の役割 山口 彰（東京大）
2019	春の年会	○企画セッション 「原子力防災の現状と課題」（理事会との合同セッション） 座長 土田昭司（関西大） 会長挨拶 駒野康男（MHI） 講演（1）原子力防災の現状(仕組み)について 荒木真一（内閣府大臣官房審議官） 講演（2）広域避難計画策定における課題について 土信田法男（茨城県） 講演（3）被災者支援から見えてきた原子力防災の課題 原口弥生（茨城大）
2018	秋の大会	○企画セッション 原子力事業者のコミュニケーション活動を考える 講演（1）原子力機構における地域住民及び次世代層とのコミュニケーション活動 あっぶる、スイートポテト、シュガーズ（JAEA） 講演（2）日本の中学生のエネルギーリテラシー研究：米国,タイとの比較調査から 秋津 裕（京都大） 講演（3）「パブリック・アクセプタンス」と「リスコミ」の微妙な関係 菅原慎悦（電中研）
2018	春の年会	○企画セッション 福島復興に向けた「風評被害」への対応（理事会との合同セッション） 座長 寿楽浩太（東京電機大） 会長挨拶 上坂 充（東京大） 講演（1）社会心理学の視点からのアプローチと対処策の展望 土田昭司（関西大） 講演（2）被災地域でのケアコミュニケーション経験からの示唆 下 道國（藤田保健衛生大） 講演（3）福島復興に向けた総合討論と質疑応答 神里達博（千葉大）
2017	秋の大会	○企画セッション 平成28年度社会・環境部会賞受賞記念講演 ～社会との対話と専門知～ 座長 高木利恵子（エネルギー広報企画舎） 講演（1）学会の総力を挙げた市民への情報提供の必要性和現状 諸葛宗男（PONPO） 講演（2）市民との対話 ～我が国における活動事例～ 山野直樹（元・福井大学） 講演（3）ステークホルダーとの対話 ～海外の事例と日本への展開～ 村上朋子（エネ経研）
2017	春の年会	○企画セッション 「社会との約束事」としての安全目標は、いかにして可能か？ 座長 寿楽浩太（東京電機大） 講演（1）「社会との約束事」としての安全目標 菅原慎悦（電中研） 講演（2）原子力システムの社会安全目標の構造 野口和彦（横浜国立大学）

社会・環境部会 企画セッション一覧（2010～2025）

2016	秋の大会	○企画セッション 平成27年度 社会・環境部会賞 受賞業績の紹介 座長 (PONPO) 諸葛宗男 講演(1)：福島原子力事故炉心溶融・水素爆発はどう起こったのか (デコミッシング研究所) 石川廸夫氏 講演(2)：福島第一原子力発電所事故に伴う地域住民のニーズに応えるリスクコミュニケーション活動 (JAEA) 菖蒲順子氏 講演(3)：原子力青年ネットワーク連絡会の活動 (YGN) 西山 潤氏
2016	秋の大会	○企画セッション 理事会との共催 原子力発電所関連訴訟について学ぶ 座長：佐藤 修彰（東北大） 会長挨拶および趣旨説明 上坂 充（東大）、佐藤 修彰（東北大） 原子力発電所運転差止訴訟ならびに仮処分について 升田 純（中央大） 裁判に対する学会部会研究会の論点整理 佐田 務（JAEA） 事前質問整理と意見交換 寿楽 浩太（東京電機大）
2016	春の年会	○企画セッション 原子力界の未解決問題－原子力学会が果たすべき役割 座長 寿楽浩太 （東京電機大） 講演 原子力界が抱える積み残し課題とその論点 諸葛宗男（PONPO）
2015	秋の大会	○企画セッション 平成25年度 社会・環境部会賞各賞受賞者による講演 座長 寿楽浩太（東京電機大） 講演（1）業績賞受賞者講演「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会の活動について」新野良子（柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会） 講演（2）優秀発表賞受賞者講演「原子力施設が地域の社会・経済の厚生に与える影響について」山根史博（広島市立大）松下京平（滋賀大）大垣英明、浅野耕太（京都大） 講演（3）優秀活動賞受賞者講演「福島市の除染情報プラザへの専門家休日派遣について」佐藤修彰（東北大） 講演（4）優秀活動賞受賞者講演「小学校での放射線教育普及のための草の根活動について」宮川俊晴（日本原燃）
2015	春の年会	○企画セッション 「原子カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールド「フォーラム」の取り組み 座長 諸葛宗男（パブリックアウトリーチ） 講演（1）福島事故後における市民と専門家の認識のギャップ 土田昭司（関西大学） 講演（2）「フォーラム」の試みと成果 竹中一真（東京大学） 講演（3）コミュニケーション・システムとしての展望 木村 浩（パブリック・アウトリーチ）
2014	秋の大会	○企画セッション 原子力界にとってこれから解決すべき課題と方向 ～大飯判決が私たちに問いかけるもの～ 座長：佐田務（原子力機構） 講演（1）大飯原発差止め訴訟 ― 一審判決の読み方 藤原淳一郎（慶大）
2014	春の年会	開催なし
2013	秋の大会	○企画セッション 特別専門委員会との共催「市民および専門家の意識調査・分析」 「原子カムラ」の境界を超えるためのコミュニケーション 座長：木村 浩（パブリックアウトリーチ） 講演(1) 福島第一原子力発電所事故と「原子カムラ」 竹中一真（東京大学） 講演(2) 社会調査に見る「原子カムラ」の捉えられ方 土田昭司（関西大学） 講演(3) 「原子カムラ」の境界を超えるために－「フォーラム」の取り組み 木村 浩（パブリックアウトリーチ）
2013	春の年会	○企画セッション 福島原発事故の社会的側面の分析 座長 大場 恭子（東工大） 講演 福島原発事故の社会的側面の分析 佐田 務（JAEA）
2012	秋の大会	○企画セッション 「福島事故に関する世論と学会員の意識のギャップをどう埋めていくか」 －マスメディア報道と原子力世論に関する調査活動の報告－ 講演(1) 福島事故を受けて世論は原子力をどう捉えているか 篠田佳彦 講演(2) 原子力学会員の意識をチェックする 土田昭司 パネルディスカッション 座長 木村 浩氏

社会・環境部会 企画セッション一覧（2010～2025）

2012	春の年会	○チェーン・ディスカッション「福島事故の社会的要因分析に関する研究報告」 （座長）大場恭子（金沢工業大学） 報告1．ポスト「福島事故」佐田務（JAEA） 報告2．福島事故に関する技術社会論的考察 北村正晴氏（東北大学）
2011	秋の大会	○全員参加型チェーン・ディスカッション「福島事故後の世論をどう読み、どう向き合うか」 第1部 話題提供 （1）概括（部会長・東京大） 諸葛宗男氏 （2）福島第1原子力発電所事故に関する各社アンケート調査のまとめ （エネ総工研）下岡浩氏、発表（JAEA）佐田務氏 （3）福島事故後の世界の原子力政策動向（エネルギー経済研）村上朋子氏 （4）再生可能エネルギー大量導入に向けた課題～ドイツの事例から （海電調）伊勢公人氏 第2部 全員参加型ディスカッション （座長）三島毅氏（大林組）
2011	春の年会	中止
2010	秋の大会	○企画セッション 保健物理・環境科学部会との共催 「リスクマネジメントとコミュニケーション」 第1部「リスクマネジメントとコミュニケーション1－業界別リスク対処法－」 （1）日本の医療システムと医療安全管理（島根大） 廣瀬 昌博氏 （2）食品業界におけるリスクへの取り組み（国際基督教大）中島 貴子氏 （3）化学工業におけるリスクコミュニケーションへの対応（関東学院大） 織 朱實氏 （座長）高橋 信氏（東北大学） 第2部「リスクマネジメントとコミュニケーション2－原子力・放射線のリスクコミュニケーション－」 （1）第1部の総括（東北大）高橋 信氏 （2）原子力分野のリスクコミュニケーションと事例（原子力機構）高下浩文氏 （3）パネルディスカッション 進行（福山大）占部逸正氏 （座長）占部逸正氏（福山大学）